

(概要版)

環境に配慮しながら食生活をよりよく工夫する能力を はぐくむ家庭科指導の工夫

—調理の学習に、水・ごみ・買物に視点をあてた
「MOTTAINAI作戦」を取り入れて—

主題設定の理由

児童の実態



こんな調理実習を
していませんか？

水の出しっ放し..
洗剤の使いすぎ..
たくさんのごみ..



長期研修員 長沼 祐子

新学習指導要領



食事の役割、
栄養・調理の内容が
一層重視

★8内容→4内容

- ◆「A 家庭生活と家族」
- ◆「B 日常の食事と調理の基礎」
- ◆「C 快適な衣服と住まい」
- ◆「D 身近な消費生活と環境」

環境に配慮した生活
の工夫を重視

平成23年度 群馬県学校教育の指針



- ◆新しい指導内容にかかわることを中心に、
学習した知識と技能を生活に生かす視点
から、実践的・体験的な学習活動や問題
解決的な学習を工夫する。



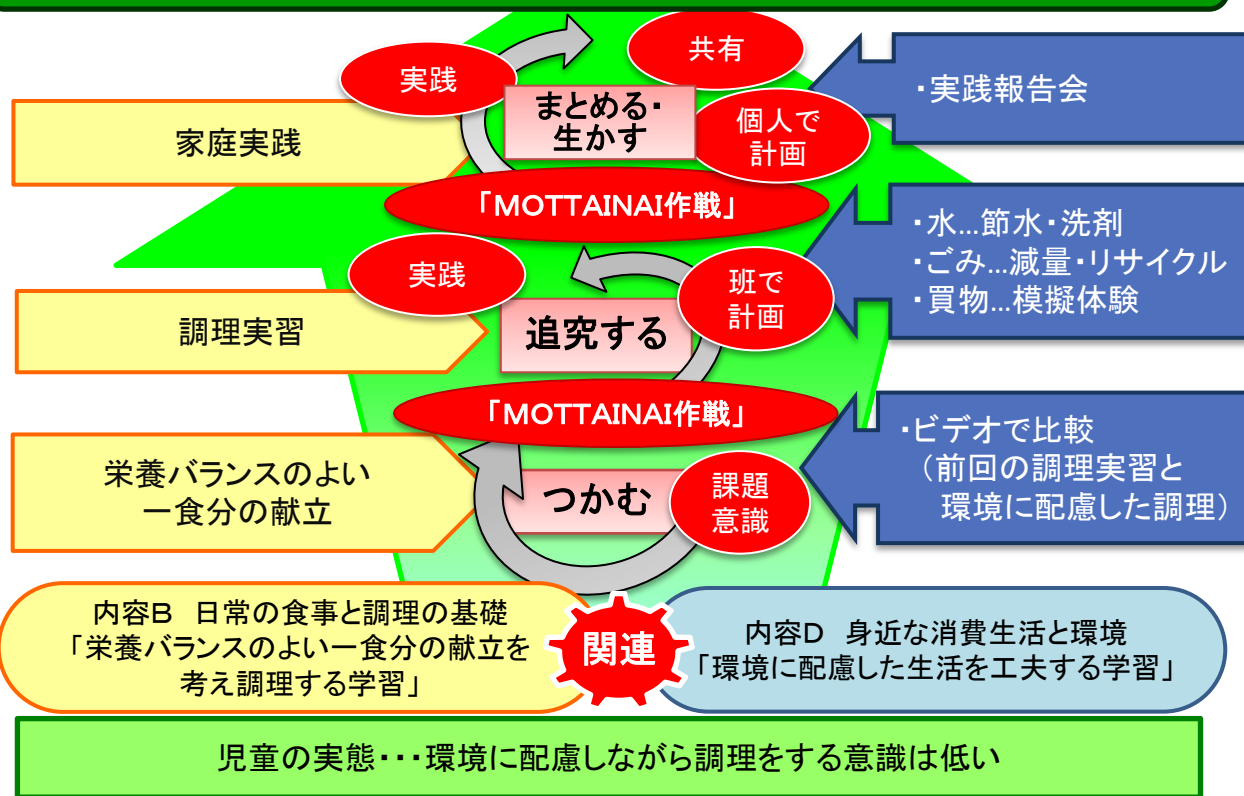
内容Bと内容Dの関連を図り、
実践的に学ぶ

「MOTTAINAI」とは..

環境分野で初のノーベル平和賞を受賞したワンガリ・マータイ女史。日本古来の「もったいない」という精神に感銘を受け、「MOTTAINAI」を世界の環境標語とすることで環境に負担をかけない生き方を広めるべきと主張した。

「MOTTAINAI作戦」とは、この言葉と意味を引用し、調理の学習において児童が環境のことを考えて実践する活動のこと。

環境に配慮しながら食生活をよりよく工夫する児童



授業実践

小学校6年

「エコでGOODバランスな食事を作ろう」(15時間)

「つかむ」
過程

自分たちの調理実習の
ビデオを視聴



比較

調理の工夫の
ビデオを視聴



自分たちの食生活が環境に与える
問題に気づき、課題意識がもてた

「追究する」
過程

水についての資料

2分間、水を出し続けると



9リットル

水1リットルに入れる洗剤



0.75
ミリリットル

- ◎水の再利用を体験
- ◎節水の工夫を意識

- ・米をとぐとき、野菜を洗うときに使用した水の量
- ・洗剤の役割、使用量
- ・食品を流したときの水質汚染、配水管の汚れ

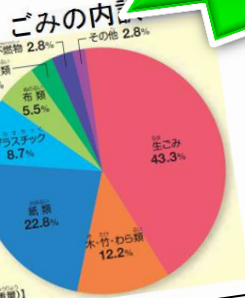
ごみについての資料

6の2全体



ごみ
1828g

- ◎ごみの減量化
- ◎循環型社会を目指す意識



- ・前回の調理実習のごみの量
- ・ごみの内訳

買物についての資料

きゅうり①

- ・群馬県産
- ・5本袋売り
- ・198円
- ・1本あたり約20円
- ・近所のスーパーの地場野菜コーナーで購入



おむに体の調子を整えるものになる食品

ハム①

- ・袋売り
- ・6枚入り(60g)
- ・198円
- ・10gあたり33円
- ・近所のスーパーで購入
- ・JASマーク



おむに体を調子を整えるものになる食品

- ・地産地消・品質表示
- ・買物シミュレーション

- ◎消費生活が環境に与える影響について意識

「MOTTAINAI作戦、水・ごみ・買物」を
計画し実践する



「まとめる・
生かす」
過程

家庭実践ワークシート

各個人で「MOTTAINAI作戦」を
計画し、実践結果を報告する

修く「MOTTAINAI作戦」調理実習表 6年2組3番 名前

日	場所	内容	感想
1	家庭	野菜を洗う	野菜を洗うときは、ボウルを使うと水が節約できる。
2	家庭	米を洗う	米を洗うときは、水を調節する。
3	家庭	じゃがいもを洗う	じゃがいもを洗うときは、ブラシを使う。
4	家庭	野菜の皮をむく	野菜の皮は、うさぎにあげる。
5	家庭	おむたを捨てる	おむたは、水を切って捨てる。
6	家庭	ごみを分別	ごみの分別、リサイクルをする。
7	家庭	エコバッグを使う	エコバッグを持っていく。
8	家庭	包装の少ないものを選ぶ	包装の少ないものを選ぶ。

全部つくるのに2時間くらいかかりました。全部おいしくできたけど、野菜入り、いいたまごは、よく煮ました。楽しかったのよ!! また来週つくります!! いただきます。

とる おいしくできました。ありがとう。

MOTTAINAI作戦「水」

- 野菜を洗うときは、ボウルを使い、まとめて洗う。
- 米のとぎ汁を再利用する。
- じゃがいもを洗うときは、ブラシを使う。
- 水量を調節する。
- 油をふき取ってから洗う。
- 洗剤を使いすぎない。

MOTTAINAI作戦「ごみ」

- ごみの分別、リサイクルをする。
- 食べ残しをしない。
- 生ごみは、水を切って捨てる。
- 野菜の皮をうすくむく。
- むいた皮は、うさぎにあげる。
- たい肥にする。

MOTTAINAI作戦「買物」

- 地産地消ができるようにする。
- 群馬の野菜、地域の野菜を選ぶ。
- エコバッグを持っていく。
- 包装の少ないものを選ぶ。
- 近くの店に買いに行く。
- 必要な分、食べる分だけ買う。



- ◎自分ができる「MOTTAINAI作戦」を継続したい
- ◎他の児童の実践を取り入れたい
- ◎食生活をよりよくするための工夫に気付く

児童の考えた「MOTTAINAI作戦」

「MOTTAINAI作戦・水」

- 野菜を洗うときは、ボウルを使ってまとめて洗う。
- 米のとぎ汁を再利用する。
- じゃがいもを洗うときは、ブラシを使う。
- 水量を調節する。
- 油をふき取ってから洗う。
- 洗剤を使いすぎない。

「MOTTAINAI作戦・ごみ」

- ごみの分別、リサイクルをする。
- 食べ残しをしない。
- 生ごみは、水を切って捨てる。
- 野菜の皮をうすくむく。
- むいた皮は、うさぎにあげる。
- たい肥にする。

「MOTTAINAI作戦・買物」

- 地産地消ができるようにする。
- 群馬の野菜、地域の野菜を選ぶ。
- エコバッグを持っていく。
- 包装の少ないものを選ぶ。
- 近くの店に買いに行く。
- 必要な分、食べる分だけ買う。

研究のまとめ

成果

- ◆水・ごみ・買物に視点をあてた「MOTTAINAI作戦」を計画し、調理実習で実践し、次に家庭実践へと二段階の学習過程を組んだことで、より具体的に自分の生活を見直し、環境に配慮した食生活の工夫を考え実践につなげることができた!
- ◆授業実践後も「MOTTAINAI作戦」で考えたことを継続し、節水の工夫やごみの減量化、地産地消の意識をもって生活するなど環境のことを意識する児童が増えた!

課題

- ◆内容Cの衣生活や住生活の題材においても、「MOTTAINAI作戦」を取り入れられると考える。どの題材と関連させることが有効か検討する必要がある。
- ◆第5学年から環境に配慮した調理の工夫を繰り返し学習することで、さらに工夫する力や実践力が身に付くものと考えられる。段階的に平易なものから応用的な題材へと題材を配列することが必要である。